

★森のおはなし探検隊★

『いとうづの森の夏あそび』
昔ながらの水あそびを行います。
竹を使って水鉄砲・笹船をつくり皆でたのしもう！



- 開催日時：7月13日(日) 13:00～
- 開催場所：子どもホール
- 参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

★ゾウの水浴びタイム★

7月・8月は、夏にピッタリのイベント「ゾウの水浴びタイム」を行います！

私たちも、プールに行ったり、シャワーを浴びたりして、涼を求めますよね～。

ゾウたちだって、涼を求めているはず・・・水浴びしたいはず・・・
ということで、このイベント、今の時期にしか見られませんよ！
お見逃しなく。

- 開催日時：7・8月の土日祝日 14:30～14:45
- 開催場所：「林床の世界」ゾウ舎前

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 7月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年7月1日発行 通巻137号

動物たちに

氷

のプレゼント

今年も夏がやってきました！

7月23日(水)は、二十四節気のうち一年でもっとも暑いとされる「大暑の日」にあたります。

動物たちにとっても、夏の暑さはつらいもの。そこで、毎年恒例の氷のプレゼントを、

この夏も行います。氷をもらった動物たちは、どんな反応を見せるでしょうか？！

- 開催日 7月23日(水) ※大暑の日
7月26日(土)・27日(日)
- 時間・動物 (各日) 11:00～ ニホンザル
12:15～ チンパンジー
14:00～ アライグマ
- 氷について

動物によって、氷柱や小さなブロック、かき氷状のものなど、形状は様々です。

くだもの入りの氷柱を与えるのは、23日の大暑の日のみです。



※氷柱に入るくだものは、バナナ、リンゴ、オレンジなどです。

くだもの取ろうとする動物たちの様子にご注目ください。

※最大サイズの氷柱のおよその大きさは、25×25×50cm、重さ約25kgです。

※荒天時は中止になる場合があります。

花暦 文月

夏に入り梅雨のただ中、ツユクサの青紫・ネムノキのピンク・トキワツユクサ・ドクダミの白、更にはとりどりの色の紫陽花、派手さはなくとも心に残る花々が雨露にぬれて光っています。

なかでもヤマボウシの美しさ、今ならアライグマ舎横で見事に開花し、「白」がひっそり控え目ではなく、強く人の心を惹きつける逞しい魅力があるんだと認識させられます。野性のヤマボウシは市内の山々でも多く見られ、尾根伝いが真っ白に見える程です。

秋の赤い果実も美味しく、山歩きの楽しみの一つです。最近の町中のヤマボウシは巨大な果実の実るもの、冬にも葉を落とさず花は小さ目で外側を向いて咲く品種の樹が多いようで、園内もその仲間ですね。

雨の静かな底力が植物を育み、7月初めのドシャブリがヤマモモの実を叩き落とすと、これぞ夏！花の姿もデイゴやスイレンに変わります。夏休みの子供達のはじける声が園の楽しみの一つとなってくるでしょう。

さてここで私事の小さなニュースです。

先日ワオキツネザル舎の前で、我が子をいつくしむ母ザル達を見ていると、何故か金網近くに寄ってきて「ミャーミャー」と何とも可愛らしい声で鳴き始めました。「うん！どうしたの」「あっそうか」。私が除草した草の束を持っていたので、ちょうだいと言っているようです。授乳中なのでお腹はすぐでしょうね。でも勝手にエサをあげる事はできません。その後どうしたかは...

隣のライオン舎へたどる途中、初めて見る野草が目に入りました。ピンクの小花の穂が咲きはじめています。数株あるので少なくとも一・二年前から住人となっていたのでしょう。園内から姿を消す植物があれば、あらこんな所にと嬉しい発見の日もあります。皆さんも動物達を見たついでに、通路の端ものぞいてみて下さい。目新しい野草に出会えるかもしれません。ちなみに今回出会った花はニガクサ(シソ科)。木の下や池川の畔に咲く、いく分珍しいものでした。

文：花咲くおぼさん

森のなかま・ベビーラッシュ

ただ今ワオキツネザル舎では、ベビーラッシュが始まっています。と言いましても、もう出産予定のお母さんはすべて出産を終えましたが、その数なんと、到津の森公園始まって以来！？の総数7頭の赤ちゃんが誕生しました。(うち1頭は、残念ながら生後4日後に亡くなりました。)マダガスカルゾーンに2頭と、林床ワオキツネザル舎で4頭(うち2頭は双子)の元気な赤ちゃんが育っています。ワオキツネザルの赤ちゃんは、生まれてから2週間程はお母さんのお腹に抱かれ、徐々に背中へと移り、1ヶ月頃になると時おり地面におりたり、エサを食べ始めたりと活発に動きだし、約5ヶ月で離乳となります。現在双子の赤ちゃんも生後2ヶ月がたち、少し大きくなった2頭がお母さん(レバノン)の背に乗っているとお母さん重たそう。大変だな・・・などと思いつつご飯を与えると、スタッフの持っているエサ入れから離れず、直接ガッツリと餌を食べているレバノンのたくましい姿。母は強し！！最近では子ども達どうしてじゃれあったり、木登りの練習をしたりと、とても活発に動き出しました。今がとっても可愛らしいワオキツネザルの赤ちゃんたち。大きくなるのはあつという間です。この時期をお見逃しなく！ぜひワオキツネザルファミリーに会いに来てくださいね！！



飼育展示係 小林 弥生